

# 平成29年度 学校教育目標・学校経営方針

## 1 学校経営基本理念

### 【経営の基本理念】

○「学校」は、子どものためにある。

○「教育」は、子どもの自立を扶けるために行う。

### ～日本人学校の目的～

本校は、ローマ市及びその近郊に在住する日本人児童生徒に対し、イタリア共和国の関係諸法規の下に、日本国関係諸法規に準拠した教育課程により、「豊かな人間性を持ち、たくましく国際社会に生きる児童生徒の育成」を目指して、初等・中等教育を行うことを目的とする。この目的の達成のために、本校教職員の叡智を結集して教育活動を行う。

### ～学校経営方針～

児童生徒のことを第一義に考え、全職員の叡智を結集して、生き生きとした魅力ある学校作りを目指し、保護者や日本人会の信頼に応える教育を推進する。

- ①生きる力を身に付けた児童生徒の育成を目指し、教育課程を編成し、着実に実践、評価し、学校教育目標の実現に努める。
- ②一人一人の児童生徒を大切にし、全ての児童生徒が存在感もてる学年、学校経営に努める。
- ③教育者としての使命を忘れず、切磋琢磨し、人の優れた点に学ぶとともに、支え合う人間関係を作る。
- ④安全で潤いのある学校環境作りを推進し、心と体の健康を推進する教育に努める。
- ⑤保護者や日本人会との連携を密にし、3者の信頼関係を深め、開かれた教育活動の展開を図る。

## 2 学校教育目標

『豊かな人間性を持ち、たくましく国際社会に生きる日本人の育成』

・校長の願い・・・活発発地「子ども一人一人が、健康で活発に活動すること」

・三つの大切・・・①生活づくりの大切 ②学びづくりの大切 ③仲間づくりの大切

### 【目指す子ども像】

- ・よく考え、真剣に学ぶ子
- ・礼儀正しく明るく思いやりのある子
- ・健康でたくましい子
- ・世界に目をひらく子

### 【目指す教師像】

- ・専門性を高め、使命感に燃える教師
- ・常に研究と修養に努め、理想を追求し、挑戦し続ける教師(研究授業の実施)
- ・児童生徒を全人格的に理解し、児童生徒と向き合い、子どもと共に実践する教師
- ・心身ともに健康で、互いに支え合う教師

## 【学校教育目標達成の“4つの柱”他】

- (1) 確かな学力を身につける学校（知育）
- (2) 規律ある態度と豊かな心を育む学校（徳育）
- (3) 健康でたくましい体を育てる学校（体育）
- (4) 豊かな国際性を培う学校（国際理解教育）
- (5) 安全で美しく潤いのある学校（安全・安心）

### 3 本年度の教育活動の重点

#### (1) 確かな学力を身につける学校（知育）

##### ○教育課程

- ・バランスのとれた授業時数を設定、運用することにより、調和のとれた人格の育成を図る。
- ・1校時小学部45分授業、中学部50分授業を実施する。
- ・朝10分間の読書を朝読書は、みんなで毎日するということから重点をおき、同じ取り組みをすることで全校児童・生徒がより心を安定させることができるということ。わずか十分間の読書によって、子どもたちは自ら考え、自ら感じ、そして自分の読書時間をさらに増やしていき、そのなかで子どもは自由や自主性を図る。
- ・グローバル化に対応するために、ECは小学部1年生から全学年に実施する。
- ・外国語活動を小学部3・4年は学年単独で年間35時間（週1時間）実施する。  
5・6年は学年単独で年間50時間実施する。  
中学部は1・2年は英語教育を週5時間、3年生は英語教育を週4時間実施する。  
（英検受検を推進していく。）
- ・小学部1・2年生は年間25時間イタリア語の授業を実施する。
- ・小学部3年～6年までと中学部のイタリア語は習熟度別のクラス編制を行う。

##### ○教科指導

- ・きめ細やかな学習指導を展開し、基礎的・基本的内容の確実な定着を図る。
- ・発展的な学習内容等を取り入れ、思考力等を育て、一層の学力向上を図る。
- ・学力診断テスト等を実施し、着実な学力の定着を図る。

##### ○総合的な学習の時間（ローマの時間）の充実

- ・横断的、総合的な学習を通して探究力、主体性、創造性等の豊かな力を育てる。

#### (2) 規律ある態度と豊かな心を育む学校（徳育）

##### ○心の教育の推進

- ・道徳の時間を中心に心の教育を進め、健やかな心を培う。（私たちの道徳の活用）

##### ○生徒指導の充実

- ・基本的な生活習慣を確立し、教育相談を基盤とした温かい心のかよった積極的な生徒指導を推進する。

##### ○児童生徒活動、学校行事の充実

- ・児童生徒の主体的な活動を促し、積極性、創造性、責任感、奉仕の心、連帯感等の豊かな力を育てる。

○進路指導の充実

- ・将来の生き方を見据え、個に応じた進路指導を行う。

(3) 健康でたくましい体を育てる学校 (体育)

○年間を通して、計画的に継続的に体力を向上させる活動を行う。

○体育指導の充実

- ・屋内外施設及び外部施設の積極的な活用や放課後の時間を有効かつ効果的に活用するなど、継続的な体力づくりを推進し、健やかな身体を育てる。

○課外活動の充実

- ・放課後の課外活動の内容は、前期・後期制により、多くの種目を体験できるようにする。

(4) 豊かな国際性を培う学校 (国際理解教育)

○グローバル人材の育成に努める。

- ・ローマで学べるよさを積極的に活用し、グローバル感覚を身に付けた児童生徒の育成にあたる。
- ・体験学習の充実…自然体験だけではなく学習体験活動を加える。
- ・国際交流を積極的に行うようにする。

○職場体験や様々な現地理解教育、交流校や様々な交流活動を通し、国際社会に生きる日本人としての自覚を育成する。

○語学教育の一層の充実 (英話、イタリア語の時間) を図り、活用する場を設定する。

○幼稚園、補習校との連携

- ・幼稚園、補習校との連携を図り、身近な所から国際理解を図る。

(5) 安全で美しく潤いのある学校 (安心・安全)

○危機管理の徹底

- ・児童生徒、教職員の生命の安全と施設の安全を常に考えて高いセキュリティ意識を持ち続けるようにする。
- ・毎月一日の安全点検日には、在外にあることを常に忘れず、気を緩めることのないように安全項目の確認を行う。

○保護者、地域社会との連携

- ・学校行事・懇談会等を通して、保護者との共通理解、共通実践を図り、相互理解と信頼関係を深める。
- ・保護者、地域社会に教育活動を公開し、開かれた信頼される学校をつくる。
- ・在外公館、日本人会、保護者会等と連携を密にし、児童生徒の安全、健康、人権を最優先した教育活動を推進する。

○環境の美化

- ・きれいで秩序ある環境づくりに努め、安心、安全に生活できる空間を提供する。
- ・潤いのある環境を整えることにより、情操豊かな児童生徒の育成に努める。

#### 4 学年・学期・年間授業日数・休業日

(1) 学年 学年は4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(2) 学期 第1学期 4月1日から8月31日まで

第2学期 9月1日から12月31日まで

第3学期 1月1日から3月31日まで

(3) 年間授業日数は200日程度とする。(平成28年度194日)

(4) 休業日

休業日は土・日曜日、イタリア国の祝祭日とし、長期休業日は次の期間とする。

学年始め休業日 4月1日から4月11日まで

夏季休業日 7月21日から8月31日まで

冬季休業日 12月23日から1月7日まで

学年末休業日 3月17日から3月31日まで

○児童生徒数 (平成29年4月1日の予想)

部	小学部							中学部				総計
	1	2	3	4	5	6	計	1	2	3	計	
年	1	2	3	4	5	6	計	1	2	3	計	総計
男	2	1	0	2	3	1	9	1	1	0	2	11
女	2	0	2	6	0	1	11	1	1	0	2	13
計	4	1	2	8	3	2	20	2	2	0	4	24